

食生態食育プロモーターズ養成講座

「3・1・2弁当箱法」のフラッシュアップ講座

食生態学や関連分野の研究・実践の成果等の科学的根拠をふまえ、豊かな愛情で実践する「食にかかわる専門家」とそのネットワークづくりを願って、NPO 法人食生態学実践フォーラム食育プロモーターズ（略称「食生態食育プロモーターズ」）養成の制度化を進めてまいりました。すでに認定をされた方々におかれましては、食育の推進において、実力のある専門家として活動の輪を広げていることでしょう。

今回は、「3・1・2弁当箱法」プロモーターズBコースの認定を受けている方々がさらに実践（支援）力をアップできる内容の講座です。会員のみなさまの実践（支援）の中で、困っていることを共有し、「3・1・2弁当箱法」のコンセプトや5つのルールの科学的根拠（下記 7.資料）等と照合しながら、活動の輪を広げるために、効果的な活用について、参加者同士が相互に学びあうことができます。

概要

1. 学 習 者 「食生態食育プロモーターズ」B コース認定者、今後「食生態食育プロモーターズ」としての活動を検討している者 **30名程度**
2. 日 程 2015年3月15日（日）10:00～12:00
3. 場 所 新宿区立新宿NPO協働推進センター 5階 501会議室
〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12 TEL:03-5386-1315
アクセス
※電車：高田馬場駅下車徒歩15分（JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線）
※バス：小滝橋下車徒歩4分（都営バス：飯64・上69、関東バス：宿02・宿08）

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/seikatsu/snjk001128.html#%E6%96%BD%E8%A8%AD%E6%A6%82%E8%A6%81>

4. 講 師 針谷順子（社会福祉法人健友会事業部長、高知大学名誉教授）
5. 参 加 費 2,000円
6. 申 込 方 法 事務局まで、別紙の申込用紙にご記入のうえ、3月3日までにFAX又はE-mailにてご連絡ください。教材としての料理などの準備の都合上、よろしく申し上げます。

7. 参加のために

- (1) 自分にぴったりサイズの空の弁当箱、箸を持参ください。料理、お茶は、こちらで用意します。
- (2) 実践上の課題を3月10日までに、フォーラムまで、メールでお寄せください。どのようなことでも結構です。
- (3) 下記①②③の資料等をご持参ください。
 - ①日本人の食事摂取基準（2015年版）に関する手持ち資料。
お持ちでない場合、下記のHPからダウンロードして得られます。
日本人の食事摂取基準（2015年版）の概要
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000041733.html>
 - ②足立、針谷：3・1・2弁当箱ダイエット法、群羊社（2004）
 - ③針谷、足立：1食単位の食事構成法「3・1・2弁当箱法」の妥当性に関する栄養素構成面からの検討、名古屋学芸大学健康・栄養研究所第6号、P33-55（2014）
お持ちでない場合、下記のHPからダウンロードして得られます。
<http://www.nuas.ac.jp/IHN/report/pdf/06/04.pdf>

事務局 NPO 法人 食生態学実践フォーラム
〒169-0075 新宿区高田馬場4-16-10コーポ小野202
TEL・FAX:03-5925-3780
E-mail: forum0314@angel.ocn.ne.jp

食生態食育プロモーターズとは

食生態学や関連の研究・実践の成果等の科学的根拠をふまえ、豊かな愛情で実践する食にかかわる専門家であり、そのネットワークづくりを進める仲間と考えています。

その実現のためには次のような力や展望が重要と考えています。

- “食”に関して、その人(々)や地域にとって、プライオリティの高い重要課題に敏感に対応し、質の高い解決の方法やネットワークをすすめることができる
- 食生態学や関連分野の研究・実践の成果等科学的根拠を理解し、適切に活用できる
- 学習者主体で参加型、たのしく進める効果的な学習スキルや実践スキル(教育的アプローチのスキル)と、これらを実現可能かつ、持続性の高い食環境づくり(環境的アプローチ)の実践スキルと、これらを統合的に活用できる
- 実践の企画、プロセス、結果等を的確に評価し、次の実践へ活用できる
これらのプロセス、課題を関係者と共有し、協働のネットワークを形成できる

食生態食育プロモーターズ養成カリキュラム I

上記のような主旨のもと、共に仲間として活動していく食育プロモーターズについて、具体的に次のようなカリキュラムの養成講座を開催します。

1. コース(レベル): 食育プロモーターズのコースは次の3つのコースに分かれています

コース (レベル)	達成内容	講座の構成(履修単位数)	
		基本編	実践編
A	地域レベル、いわゆる政策論、食環境作りも含めた食育計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる	8	4
B	個人や集団の食のニーズに対応する食育計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる	6	2
C	自分や、身近な人の食のニーズに対応する食育計画・実施・評価ができる	4	1

※1 単位:90分

2. 講座のシステム

- 1) 食生態食育プロモーターズ養成カリキュラムは、「3:1:2」弁当箱法を実践ツールとしたカリキュラムです。
- 2) 講座の構成:基本編と実践編(3:1:2 弁当箱法)からなります。
- 3) 受講のステップ:レベルCからの受講となります。
- 4) 履修:上表は標準的なものです。これまでの活動や当フォーラム主催の研修会参加等は読みかえ又は加算が可能です。
- 5) 履修単位の登録:随時開催する講座に参加し、習得した単位は登録をすることができます。
- 6) 各コースの承認:所定の単位を修得した場合、認証の申請をすることができます。認証は別に定める委員会が所定の手続きで行います。

申し込み締め切り:3月3日(火)

NPO 法人 食生態学実践フォーラム
Fax:03-5925-3780

NPO 法人 食生態学実践フォーラムプロモーターズブラッシュアップ講座に出席します

プロモーターズ認定

正・賛助会員

氏名(フリガナ)

連絡先住所 〒

TEL

FAX

E-mail

参加に際し、ご要望ご意見、実践上の課題等がございましたら、お書きください